

# 仕 様 書

## 1 対象業務及び所在地

(1) 業務名

旧中央保健センター庁舎環境衛生管理業務

(2) 対象施設及び所在地

旧中央保健センター庁舎 札幌市中央区南3条西11丁目

## 2 履行期間

契約締結日から令和5年10月31日まで

## 3 業務仕様

- (1) 受託者は、本仕様書に記載されていない事項については、国土交通省が定める「建築保全業務共通仕様書（平成30年版）」に基づいて業務を遂行すること。
- (2) この仕様書に定めのない事項については、委託者と協議のうえ実施すること。

## 4 業務内容等

受託者は「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」、「水道法」及び「下水道法」の関係法令に基づき、下記に掲げる業務を遂行すること。

業 務	内 容	測定等周期	実施月
(1) 空気環境測定 ※注1	浮遊粉じん、一酸化炭素、炭酸ガス、温度、相対湿度、気流の測定	2か月以内ごとに1回 (同一測点を1日2回)	4月、6月、 8月、10月
(2) 汚水槽等清掃 ※注2	汚水槽、雑排水槽の清掃 (水中ポンプの点検保守含む)	6か月以内ごとに1回	6月
(3) 排水管清掃 ※注3	薬剤投入による排水管清掃	6か月以内ごとに1回	7月
(4) 貯湯槽清掃 ※注4	貯湯槽の清掃及び清掃終了後の水質検査、残留塩素の測定（同時にマンホールのフランジパッキンの取替を行うこと）	1年以内ごとに1回	5月
(5) ねずみ・昆虫 等防除 ※注5	ねずみ・昆虫等の防除	6か月以内ごとに1回	5月
	定期調査、薬剤補完等	3か月以内ごとに1回	7月、9月

業 務	内 容	測定等周期	実施月
(6) 水質検査	省略不可項目、金属等項目（16項目）の検査及び消毒副生成物項目（12項目の検査）	6か月以内ごとに1回 （6～9月間に測定）	

注1) 測定点は、地下1階及び3～5階の室内6ポイント及び外気2ポイント  
詳細の測定点は委託者との協議により決定する。

注2) 汚水槽 1槽 10.00m<sup>3</sup>

雑排水槽 1槽 21.00m<sup>3</sup>

注3) 対象箇所 地下1階及び3～5階の洗面器・手洗い器、一般流し類、  
シャワー室床排水管薬剤清掃口数・・・・・・・・・・44箇所  
地下1階及び3～5階のSK流し、  
小便器排水管薬剤清掃口数・・・・・・・・・・15箇所

注4) 貯湯槽 2槽 各1.50m<sup>3</sup>

注5) 防除対象面積：2580.23m<sup>2</sup>（機械室、廃棄物保管庫及び水を使用する室面積）

## 5 業務の実施計画等

受託者は、業務の実施にあたり事前に実施計画書を作成して委託者の承認を得ること。

また、業務は「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」等の関連法令に基づき行うこととし、業務開始時に建築物環境衛生管理技術者を選任※の上、建築物環境衛生管理技術者であることを証する免状等の写しを委託者へ提出すること。

※令和5年度については、本施設は上記の法律に定める特定建築物に該当しないため、札幌市保健所への特定建築物維持管理報告書の提出は不要とするが、特定建築物に準じた施設管理を行うこととし、建築物環境衛生管理技術者を選任する。

## 6 業務の実施方法

### (1) 空気環境測定

ア 原則として各階の居室毎に測定点を求めるが、建築物の用途、構造、空調の方式・系統等の諸条件を考慮して測定すること。

イ 測定場所は居室の中央において、測定ワゴンを用いて床下75cm～120cmの高さで測定すること。

### (2) 汚水槽等清掃

ア 汚水槽等については、槽内の汚水及び残留物質を排除すること。

イ 流入管、水中ポンプ等については、付着した物質を除去し、点検を行なうこと。

ウ 清掃作業終了後、槽周辺の清掃及び点検を行うこと。

### (3) 排水管清掃

シャワー室床排水口、洗面器・手洗い器、各種流し類、小便器（大便器は除く）等からの薬剤による清掃を基本とする。

#### (4) 貯湯槽清掃

- ア 水槽内排水後、水槽内設備機器の点検を行った後、清掃を行うこと。
- イ 水槽内の沈殿物質及び浮遊物質並びに壁面等に付着した物質を除去し、洗浄に用いた水を完全に排除するとともに、水槽周辺の清掃を行うこと。
- ウ 水槽の清掃終了後、塩素剤を用いて2回以上水槽内の消毒を行うこと。
- エ 消毒薬は、有効塩素50～100mg/l濃度の次亜塩素酸ナトリウム溶液、またはこれと同等の消毒能力を有する消毒剤を用いること。
- オ 消毒作業は、槽内の全壁面、床及び天井の下面に対し、高圧洗浄機等を利用して噴霧により消毒薬を吹き付けるか、清潔な専用ブラシ等を利用して行うこと。また、消毒に用いた排水は完全に槽外に排除すること。
- カ 消毒終了後30分以上経過した後、水槽の水張りを行い、給水栓及び水槽内の水について、残留塩素の測定、濁度・色度・味・臭気の検査を行うこと。
- キ マンホールのフランジパッキンの取替を行うこと。

#### (5) ねずみ・昆虫等防除

- ア 状況調査を行い、当該調査の結果に基づき建築物全体についての効果的な作業計画を策定し、適切な駆除方法、薬剤の選定により防除作業を行うこと。
- イ 薬剤等は薬事法等の規定に基づき使用及び管理を適切に行い、業務に従事する作業員並びに建築物の使用者及び利用者の事故防止に努めること。
- ウ 防除作業終了後、防除の効果を定期的に調査し、必要に応じて薬剤を補完すること。

#### (6) 水質検査

飲料水について、以下に掲げる項目の水質検査を行うこと。

建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第4条第1項第3号イに定める項目（16項目）及び建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第4条第1項第3号ロに定める項目（12項目）

#### (7) 報告等

報告書作成にあたり必要な情報は委託者から提供する。

#### (8) 業務の実施にあたっては、事前に委託者と日程等について協議すること。

### 7 業務報告

受託者は、業務終了後、すみやかに業務報告書（4 業務内容等の (2)・(3)・(4)については作業状況及び現場状況がわかる写真も添付）を提出すること。

### 8 安全管理

- (1) 受託者は、業務の実施にあたっては、委託者及び業務従事者、第三者に対する事故の防止に十分注意するとともに、事故に対する一切の責任を負う。

なお、事故が発生した場合には、直ちに委託者に報告する。

- (2) 業務の実施にあたって、備品及び設備等を破損し、または破損個所を発見したときは、直ち

に委託者へ連絡のうえ、適切な処置をとる。

## 9 環境負荷低減に関する事項

本業務の履行においては、委託者である札幌市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷の低減及び環境法令の順守等に努めること。

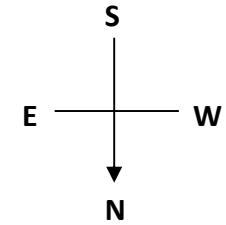
- (1) 電気・水道または温水等の使用にあたっては、極力、節約に努めること。
- (2) 清掃に使用する洗剤等は、環境に配慮したものを使用し、極力、節約に努めること。
- (3) 成果品に紙を使用する場合は、極力、古紙100%のものを使用するものとし、また、複数ページにわたる場合は、原則として両面印刷とするよう努めること。
- (4) 本業務の履行において使用する商品・材料等は、札幌市グリーン購入ガイドラインに従い、環境に配慮したものを使用すること。

## 10 発注担当

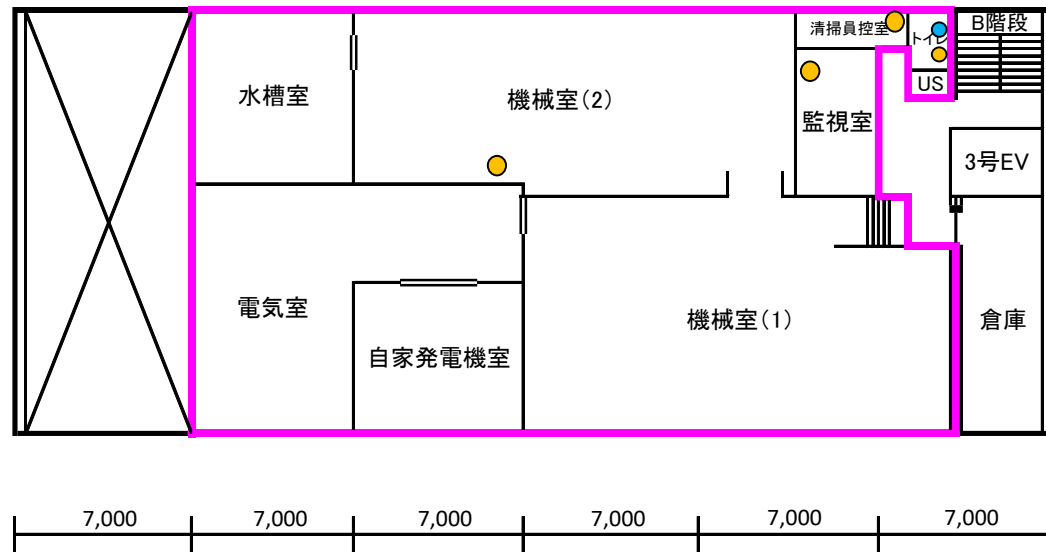
札幌市市民文化局地域振興部区政課（区役所整備担当） TEL：011-211-2176

札幌市中央区北1西2丁目 札幌市役所本庁舎13階南側

# 旧中央保健センター庁舎環境衛生管理業務地下1階平面図



- 防除対象範囲
- 排水管洗浄口(洗面器・流し台・シャワー室)
- 排水管洗浄口(小便器・SK・洗濯機パン)

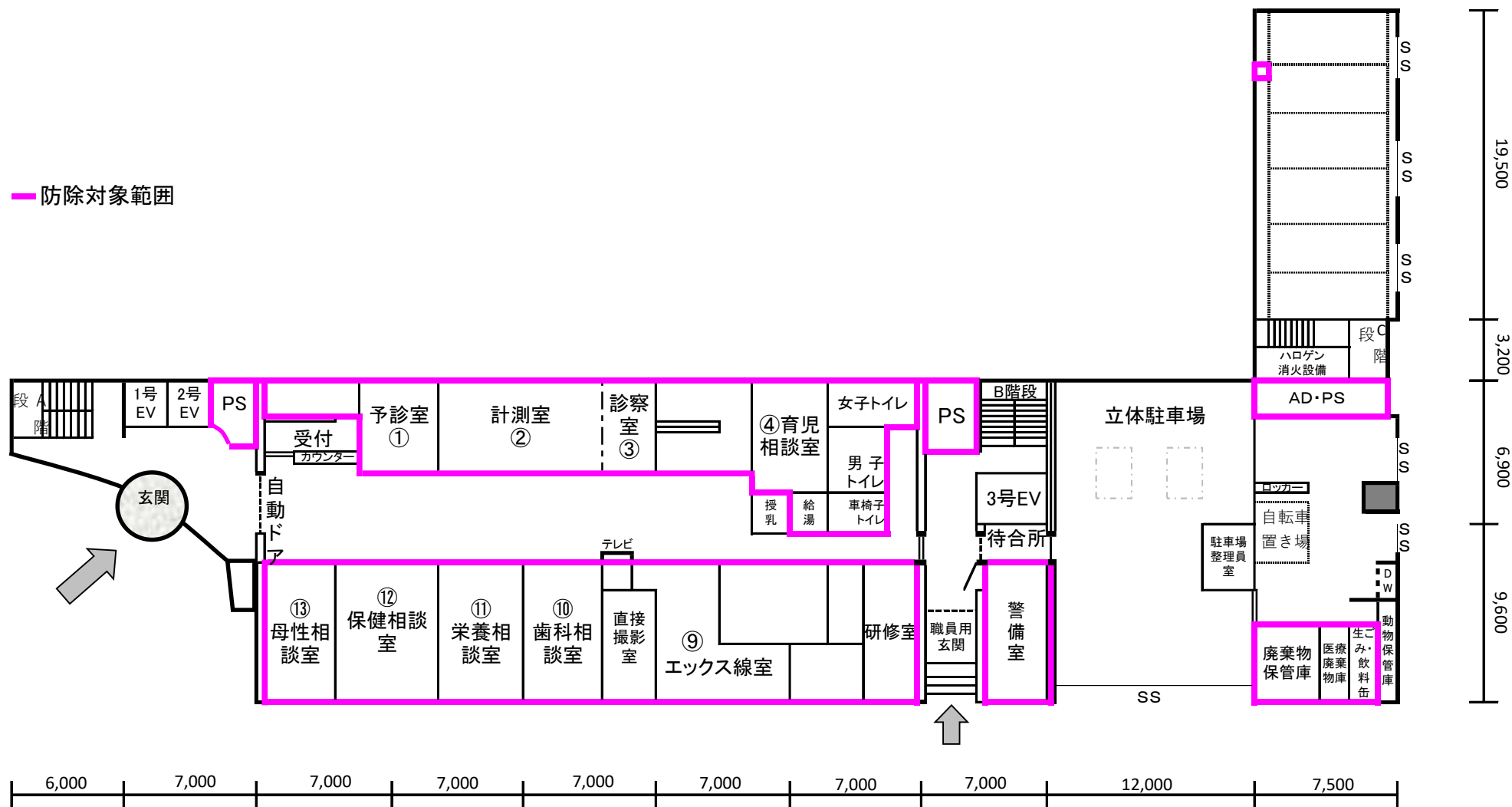


8,328  
9,600

7,000 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 7,000

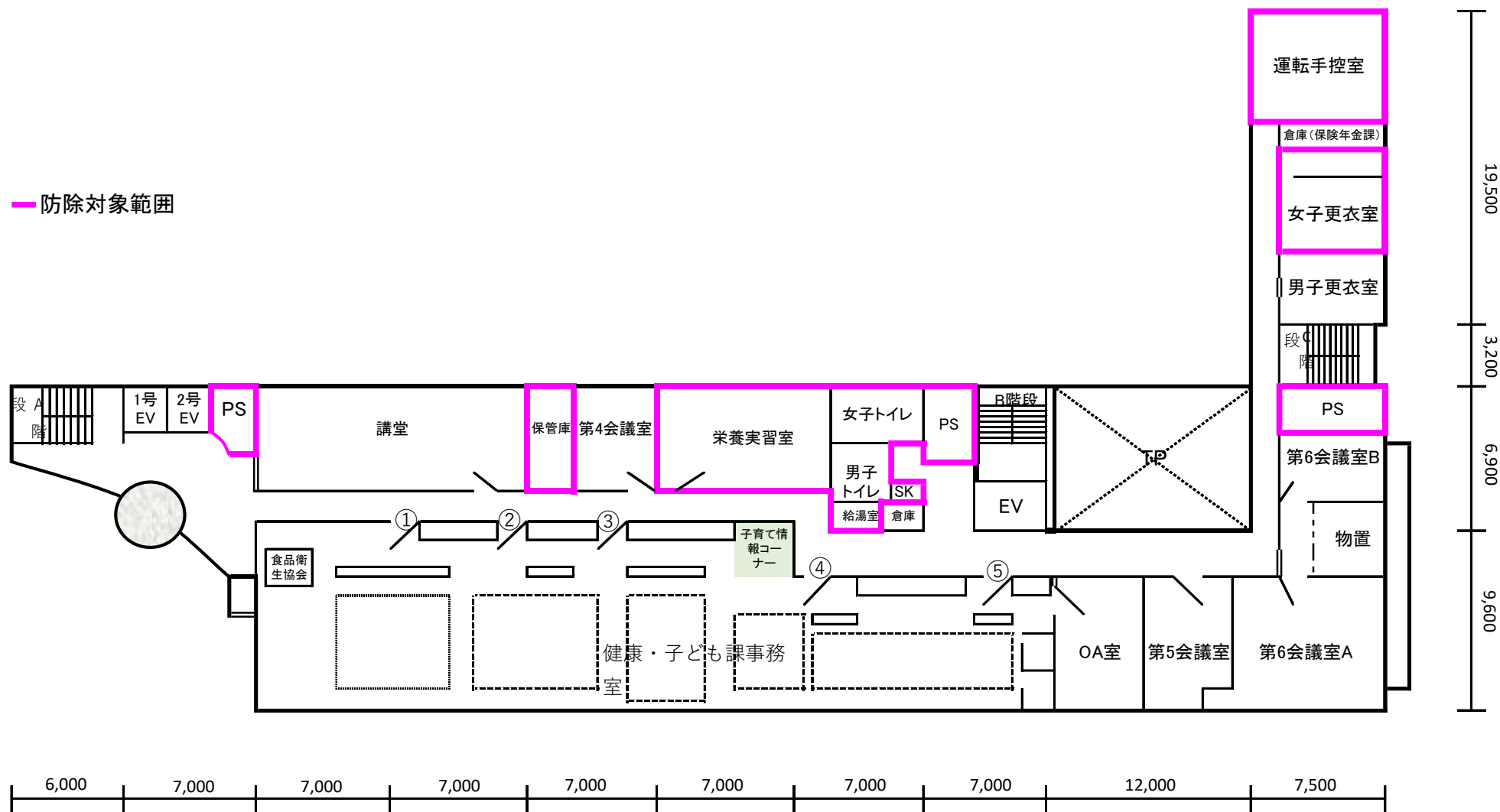
# 旧中央保健センター庁舎環境衛生管理業務1階平面図

— 防除対象範囲



# 旧中央保健センター庁舎環境衛生管理業務2階平面図

— 防除対象範囲

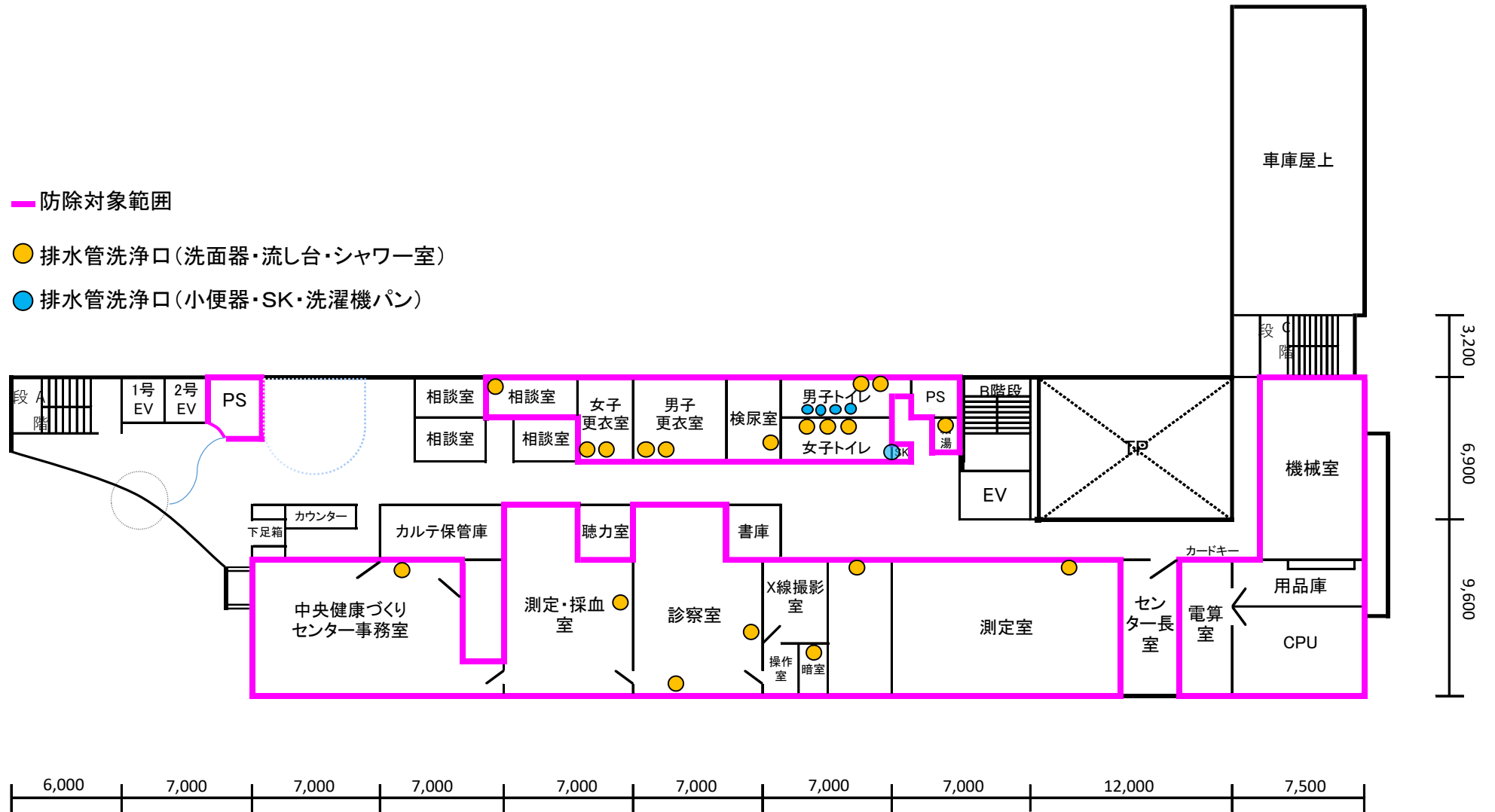


# 旧中央保健センター庁舎環境衛生管理業務3階平面図

— 防除対象範囲

● 排水管洗浄口(洗面器・流し台・シャワー室)

● 排水管洗浄口(小便器・SK・洗濯機パン)



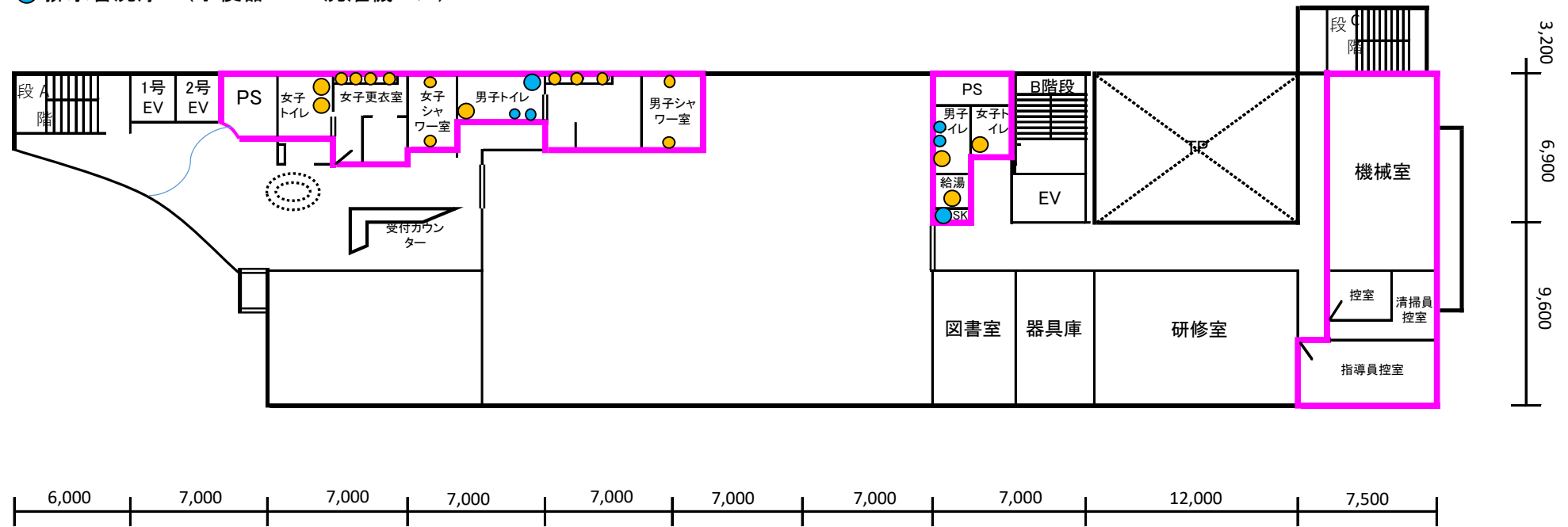


# 旧中央保健センター庁舎環境衛生管理業務4階平面図

— 防除対象範囲

● 排水管洗浄口(洗面器・流し台・シャワー室)

● 排水管洗浄口(小便器・SK・洗濯機パン)

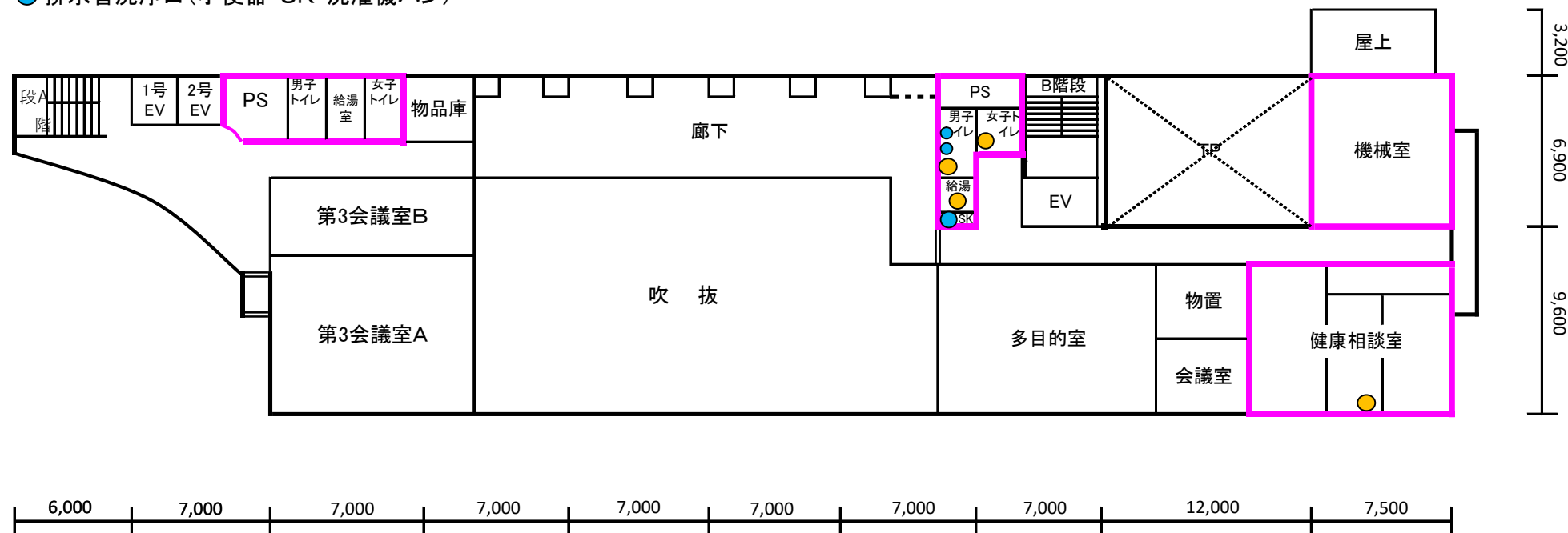


# 旧中央保健センター庁舎環境衛生管理業務5階平面図

— 防除対象範囲

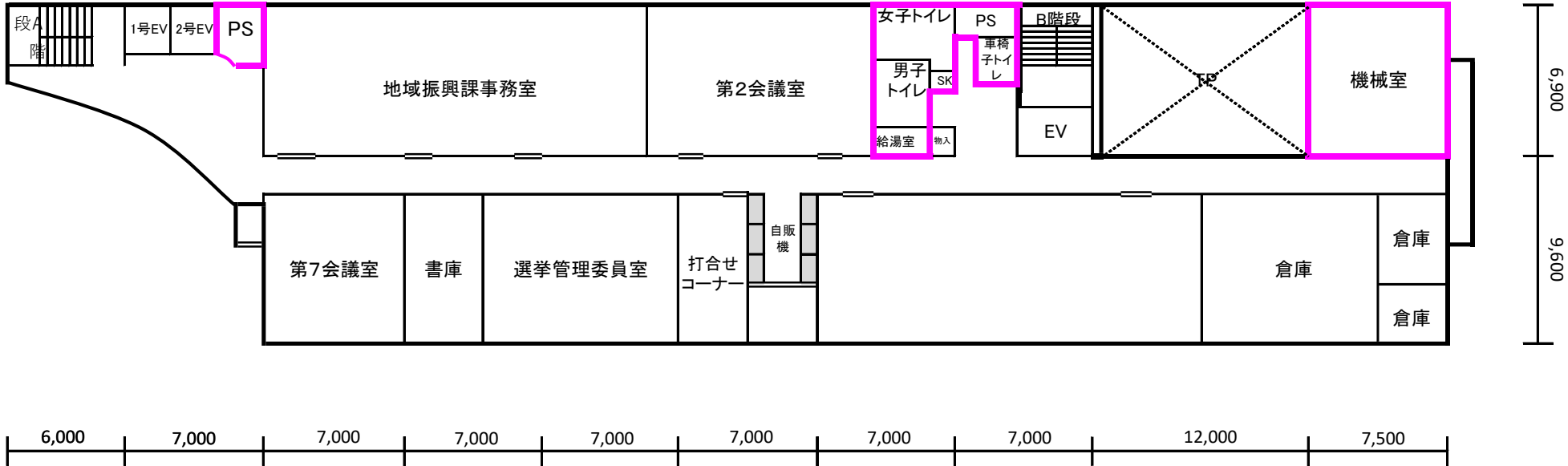
● 排水管洗浄口(洗面器・流し台・シャワー室)

● 排水管洗浄口(小便器・SK・洗濯機パン)



# 旧中央保健センター庁舎環境衛生管理業務6階平面図

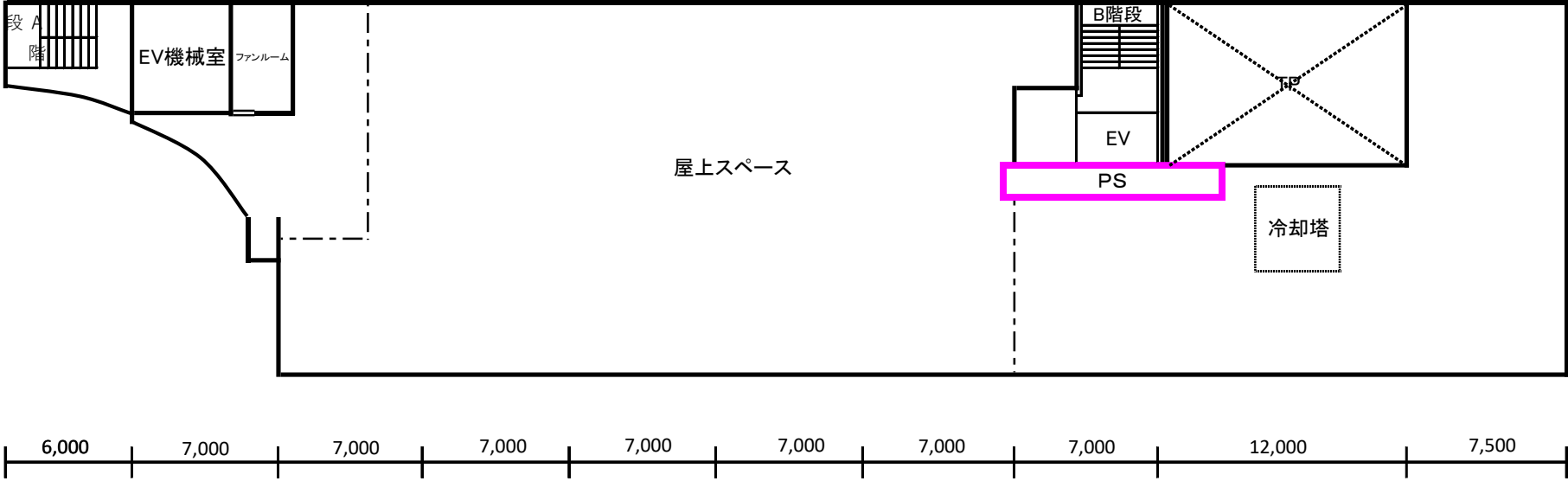
— 防除対象範囲



# 旧中央保健センター庁舎環境衛生管理業務屋上階平面図

防除対象範囲

<PH1>



<PH2>

